



【2012-2013年度RIテーマ】

**FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB**

**藤枝南ロータリークラブ会報**

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321  
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
 E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

**第1007回**



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 我等の生業・思い出の渚
- ソングリーダー 鈴木健夫君

### 会長報告

村松 章隆君

皆さん、こんにちわ！

先ず、報告事項から話をさせていただきます。去る8月3日、臨時会長幹事会が焼津グランドホテルにて行いまして、内山幹事と共に出席をさせていただきました。議題は、交換留学生を来年8月～7月の一年間、第5分区(9クラブ)が受入を担当することに決定したことをガバナー補佐より話があり、掛川市に在住で静岡大学島田付属中学3年生の女子が留学することが決まっております。その交換学生を受入れする為だそうです。どこの国の学生か？男か女かも未定ですが、最悪じゃんけんで決まるかもしれません。

うれしい報告です。現在3人の入会希望がきております。来月の理事会にて承認後、会員の異議申し立てがなければ10月より入会が決まります。

暑い日が続いておりますが、前回の納涼例会では、クラブ運営・親睦委員の皆様には、楽しい企画をしていただきありがとうございました。オリンピックが終わり、引き続きパラリンピックが開催されました164カ国の参加があり、藤枝在住の方も選手で参加しております。感動と勇気と夢の大会を応援しましょう。

さて、本日は、会員卓話になっております。後ほどよろしくお祈いします。

### 理事会報告

内山 淑夫君

- 8・9月プログラムについて承認されました。
- 納涼夜間例会について承認されました。
- 2011-2012年度決算報告について承認されました。
- プロジェクター・デジカメの購入について承認されました。

プロジェクターについては藤枝RCと共同購入。1ヶ月/1,200円

デジカメは購入。17,000円

- 事務局就業規則変更について承認されました。就業時間

10時～15時 10時～15時30分  
給与

80,000円 83,000円

- 地区資金 世界平和フォーラム負担金 が承認されました。

300円/人・年(12,900円)

- 藤枝社会福祉協議会会費が承認されました。

3,000円/1口・年(3,000円)

### 幹事報告

内山 淑夫君

- 第2620地区より  
9月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=80円です。
- 第2620地区より  
地区大会早割登録のご案内が届いております。
- 第2620地区より  
第11回ロータリー日韓親善会議のお知らせが届いております。
- 公益財団法人 米山梅吉記念館より  
賛助会入会のお願いと秋季例祭のご案内が届いております。
- 藤枝市ゴルフ連盟事務局より  
第38回藤枝市民ゴルフ大会のお知らせが届いております。
- 社会福祉法人ハルモニアより  
ウェルフェア塾に関する資料が届いております。
- 藤枝市社会福祉協議会より  
平成24年度藤枝市健康福祉大会のご案内が

届いております。

- ザ・ロータリアン誌 8月号が届いております。

### 出席報告

桑原 茂君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
36 / 41 87.80%	33 / 41 80.48%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)  
伊藤彰君 植田君 樽井君 望月君  
川口君

### ビジター

櫻井龍太君(藤枝) 大長昭子君(藤枝)

### スマイルBOX

桑原 茂君

- 誕生プレゼントありがとうございます。51才になりました。松浦 正秋君
- 誕生プレゼントありがとうございました。伊藤 彰彦君
- 夫人誕生のお祝いありがとうございました。多々良 睦生君
- 結婚記念日のお祝いありがとうございました。樽井 勉君
- 小杉苑が新しく開発した桐たんす弁当が、去る8月16日静岡新聞全県版に掲載されました。このお弁当は県の経営革新計画の認定を受け、藤枝らしさにこだわったお弁当で、藤枝の名物になるようがんばって行きたいと考えます。朝比奈 潔君

スマイル累計額 219,732円

### 会員卓話

「私の生い立ち」

中山 恵喜君



みなさんこんにちは、5月に入会させて頂き3カ月が経過しました。本日はこのような貴重な時間を頂き、ありがとうございます。30分という時間を頂きまして「わたしの生い立ち」ということで、お話をしたいと思います。

私は昭和46年、西暦では1971年の1月の

生まれになります。1年前の1970年は大阪万博が開催された年になります。今年で41歳になります。妻と一歳の息子がおります。出身は浜松市の天竜区春野町になります。今でこそ平成の大合併で浜松市になっておりますが、以前は周智郡春野町で「遠州の小京都」と言われる森町と同じ郡でした。地図を用意致しました。赤色の四角の目印が藤枝市で、青色の四角が静岡市・浜松市・沼津市にそれぞれなります。そしてこの南アルプスの南端にあるのが春野町になります。山に囲まれた田舎です。

そんな町ですが、著名な出身者がおります。宝塚の演出家で日本初の本格的レビュー「パリゼット」の主題歌「すみれの花咲く頃」の作詞家でもある白井鉄造氏。町の夕方5時の広報から流れる音楽が、この曲になっています。レビューといってもよく分かっておりませんが、町内の中学校が修学旅行で宝塚歌劇団を訪れると特別のはからいで壇上にて勢揃いの団員と集合写真を取って頂けるのが特典だったのを覚えております。

続いて日産フェアレディ Zの開発・販売に携わり、フェアレディーZ愛好家から「Zの父」と慕われている片山豊氏がいらっしゃいます。

名所には、創建西暦709年の秋葉神社があります。火防の神として全国の秋葉神社の総本宮として山の上に鎮座しております。また秋葉山の天狗伝説から、町の広場には日本一の天狗のお面があります。高さ8メートル・横6メートルの巨大な朱塗りのお面です。数年前にスズメバチが格好の住処として、天狗の鼻の中に巣を作り話題になっていました。

自然の中で勝手気ままに育ったのが幼少期の思い出です。小学生の頃は爆竹をばらしてカエルの口に入れたり、ヒキガエルを丸呑みしているアオダイショウをつついてみたり、根性試しと称して青みがかった川の淵に飛び込んだり、国道の橋の下にできたスズメバチの巣に石を投げてハチが追ってきたりと、そんなことをやっておりました。生家は五右衛門風呂でしたので、小学校の5年生頃までは薪を炊くのが日課でした。地バチのハチのご飯、滋養強壮に螻の炙ったものや、螻の卵の天婦羅も食べたことがありました。

とにかく田舎暮らしでしたが、小学校6年生の時に全国健康優良校という荣誉に預かり、運良く代表として皇居宮殿松の間で昭和天皇からお言

葉を頂いたのは、貴重な体験でした。帰りに頂いた天皇家家紋入りどら焼きは、祖母が「家紋はそのままに回りだけ食べなさい」ということになり、ガッカリしたのを覚えています(卓話では話そびれてしまいました)。

趣味はゴルフです。と言えるほどではありませんがゴルフと登山を少し前に始めました。先ほどの地図ですが、このピンクの目印がこれまでに行った山です。まだまだ少ないですが・・・。あと妻の郷里が新潟の妙高で、妙高山や火打山なども登っております。今日は登山スタイルをご覧頂きたく、持ってきましたので披露させていただきます。これが15kgの重量になります。シュラフ(寝袋)やらいろいろ入っておりますが、ただ登山道具を見て頂いてもお役に立ちませんので、卓上の「非常持ち出し品チェックリスト」をご覧下さい。防災の日を前に一時持ち出し品・二次持ち出し品として和歌山の自治体が出しているものを拝借してきました。この基本品目31点ですが、これをコンパクトにいれるには、このようなザックが必要になりますし、袋の重量の目安が男性で15kgといわれており、かなりの重量です。このザックも相当重いです。災害時足元の悪い中避難するには、普段からの備えと心掛けが必要だと実感しました。また、静岡県危機管理部が作成された‘命のパスポート’もご参考にして下さい。

最後になりますが、私は生業で生命保険の仕事に携わっております。震災の際、生命保険金は払われるのかなどのご質問を東日本の震災以来頂くことがあります。生命保険会社は地震による免責条項を備えていますが、今回の東日本大震災にも全ての保険会社がこれを適用しない、ということで一致して保険金のお支払いに対応しております。また、生命保険に入っていたか、否かも分からないという場合は、協会において災害地域生保契約照会センターを設置して、全社と一括照会を行える体制を築いています。避難袋同様保険証券や加入状況の分かる一覧表など、ご家族の皆さんで共有できるよう準備しておくことより安心かと思えます。

余談ですが金融庁による「標準利率」が12年ぶりに引き下げられる見通しが強まっています。来春には生命保険会社各社が終身保険などの保険料の値上げを(新規加入分についてのみ)申請する可能性が強まっております。備えが必要な場

合は値上げ前が有利かと思えます。

以上になります。長い時間ご清聴頂きありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

## 今週の一言

池谷 和正君



### 『私の父・母』

皆さんこんにちは。テーマである私の父・母ですが、父の方はそれこそ皆様ご存じの通りですので、今日は母についてお話ししたいと思います。母の出身は島根県・隠岐の島町でして、今何かとニュースに取り上げられる「竹島」に一番近い島です。

母は看護学校を卒業した後、大阪から静岡の(藤枝)病院に移り、そこにたまたま入院していた父と知り合いそのままゴールインなんて話です。ご存じの通り元気のいい父をいつも裏方で支えてきた母ですが、ここにきて家の中では父より母が主導権を握り始めた感じがあります。私の性格は、父と言うより母の性格に似ていますので、父よりインパクトが小さい男です。まあ、酒が入れば父のようにはっちゃけちゃいますけどね。

(担当/佐野君)